

日本でも第一級の豪華さを誇る
 諏訪館跡庭園 (特別名勝)

この庭園は、4つの特別名勝朝倉氏庭園の中で最も大きく、戦国大名の庭園では、日本でも第一級の豪華さを誇ります。5代義景が最愛の妻「小少将」のために造ったと伝えられています。

写真撮影 © 水野克比古



はなさんが(モデル、タレント)
 「義景と小少将の愛の物語」を語ります。

平成27年

9.26 (土)

13:30~16:30

国際交流会館多目的ホール
 (福井市宝永3丁目1-1 JR福井駅徒歩15分)

一乗谷朝倉氏庭園の魅力と再発見

参加
無料

定員 300名
 ※先着順

「関西から日本の社会を文化で元気にしよう」という「関西元気文化圏」の取り組みとして、「文化芸術の再発見」をテーマに関西各地で開催するフォーラムです。今回は、進士 五十八氏を迎えて、福井県で開催します。

講演

「日本庭園の技と心」【60分】

日本文化を代表する空間文化・「日本庭園」の特色、縮景・借景・樹藝・然び、その精神美・景観美・自然美・時間美を語ります。

講師：進士 五十八氏

(東京農業大学名誉教授・日本造園学会元会長
 福井県里山里海湖研究所長)

プロフィール

東京農業大学名誉教授、日本の造園学、景観政策学研究の第一人者であり、各都市のまちづくりや景観づくりなど幅広く活躍中。これまでに東京農業大学学長、日本造園学会会長、日本都市計画学会会長、社会資本整備審議会委員など多くの要職を歴任。日本庭園の特質に関する学術研究を昇華させ、環境の時代にふさわしい「緑と農のまちづくり論」の創造を行い、地球環境の持続的維持に向けた基盤となる方法論を提示し、政策展開、実践を行う。2007年紫綬褒章、2015年みどりの学術賞受賞。主な著書には、「アムニティ・デザイン」(学芸出版社)、「日本の庭園」(中公新書)、「日比谷公園・百年の矜持に学ぶ」(鹿島出版会)、「グリーン・エコライフ」(小学館)など多数



進士 五十八氏

報告

「一乗谷朝倉氏遺跡と一乗谷朝倉氏庭園の歩み」【30分】

特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡の史跡整備40年の歩みと、特別名勝一乗谷朝倉氏庭園の見どころや特長を紹介します。

講師：藤田 若菜氏

(福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館 文化財調査員)

パネルディスカッション

「一乗谷朝倉氏庭園の魅力と再発見」【80分】

コーディネーター：進士 五十八氏

パネリスト：はな氏 (モデル、タレント)

「諏訪館跡庭園にみる朝倉義景の愛」

烏賀陽 百合氏 (ガーデンデザイナー)

「外国人観光客からみた一乗谷朝倉氏庭園のクールな魅力」

藤田 若菜氏

「朝倉館跡庭園 鑑賞体験!」(映像による庭園鑑賞疑似体験)

本中 眞氏 (前文化庁記念物課主任文化財調査官)

「一乗谷朝倉氏庭園の本物の魅力と伝え方」





朝倉館跡庭園 (特別名勝)

この庭園は、完全に土の中に埋もれており、発掘調査により発見されたものです。池の底には大小の石が美しく敷き詰められており、池の周りには、大小さまざまな庭石で出入りの多い護岸が組まれています。

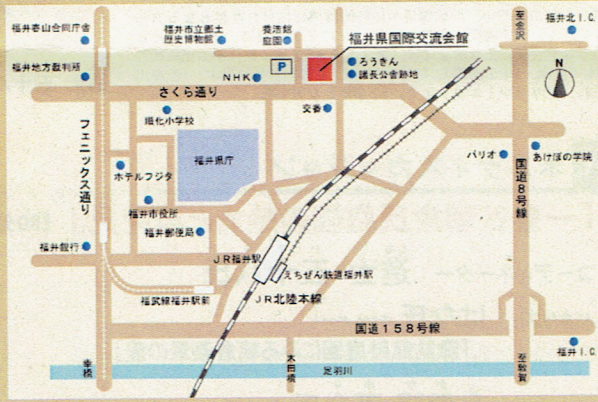
申込方法等

申込方法 **ハガキ・FAX・Eメールにて**
 ①「9月26日フォーラム申込」②参加者お名前
 ③参加者ご住所 ④ご連絡先(TELまたはFAX、Eメール)をご記入のうえ、お申し込みください。

申込先 福井県観光営業部文化振興課
 〒910-8580 福井県福井市大手3丁目17-1
TEL : 0776-20-0580 FAX : 0776-20-0661
E-mail : bunshin@pref.fukui.lg.jp
 ▼詳細はこちらをご覧ください
<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/bunshin/sengokufukui.html>

会場までの交通案内

福井県国際交流会館 多目的ホール(福井市宝永3丁目1-1)
 ◆電車でお越しの方 JR福井駅下車徒歩15分
 ※できる限り、公共交通機関でお越しください。



400年の眠りから現代によみがえる戦国城下町 一乗谷朝倉氏遺跡

発掘調査の始まり
 昭和5年、史跡・名勝指定を受けた朝倉氏遺跡は、昭和42年、本格的な発掘調査が始まりました。
 城下町一乗谷の実像が明らかに
 調査の過程で、朝倉館、武家屋敷、寺院、商人・職人達の町屋、それらを結ぶ道路など、戦国時代の城下町の全貌が発掘で明らかになってきました。



復原町並

国の特別史跡に指定
 調査の過程で、戦国時代の山城と城下町が良好な状態で残されており、学術中の価値が特に高く、日本文化の象徴であると認められたため、昭和46年、山城跡を含む延べ278haが国の特別史跡に指定されました。

国の特別名勝、重要文化財に指定
 平成3年、遺跡内の主要な4庭園が特別名勝に、平成19年には、遺跡出土品2,343点が重要文化財に指定され、現在も発掘調査と研究が進められています。

遺跡にある特別名勝庭園

戦国時代の荒々しい石組み
湯殿跡庭園 (特別名勝)
 この庭園は、戦国時代の気風を漂わせる、荒々しく勇壮な石組みが特徴です。4つある特別名勝朝倉氏庭園の中で、一番古いものではないかと考えられています。



春の湯殿跡庭園

後の室町幕府15代将軍義昭をもてなした
南陽寺跡庭園 (特別名勝)
 この庭園が位置する南陽寺跡では、一乗谷朝倉氏5代義景が永禄11年(1568)の春、後に室町幕府最後の将軍となる足利義昭を招き、境内の糸桜を眺めながら歌会を催したと伝えられています。庭園の横に、この時詠んだ2人の歌の石碑があります。



冬の南陽寺跡庭園

★このまま送信ください。

関西元気文化圏推進
 フォーラム
**参加
 申込書**

FAX : 0776-20-0661 (福井県文化振興課 行き)

参加希望人数 _____ 名 代表者氏名 _____

代表者住所 〒 _____

代表者連絡先 TEL _____

※ご記入いただきました個人情報については、本フォーラムの目的以外には使用いたしません。